

2024（令和6）年度 事業報告

社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会

中野区立かみさぎこぶし園

東京都手をつなぐ育成会統一ミッション

「私たちは、すべての人一人ひとりの人権と意思を尊重し、障害のある人もない人も共に社会・経済・文化ほかあらゆる分野に参加する機会を得て、主体性を持ちながら豊かな市民生活を送ることができる社会の実現を目指します。」

中野区立かみさぎこぶし園サブミッション

「利用者の人権と意思を大切にし、人と人との関わりを通して、健康で豊かな地域生活を安心して送れるよう支援します。」

1. 全体状況

今年度、指定管理2期目10年目の最終年度であった。9月に中野区による選定委員会を経て、引き続き次期指定管理者として3期目の指定を受けることができた。

中野区においては、健康福祉審議会において示されていた障害福祉の現状と課題にあるように、医療的ケアの必要な方への支援や障害者の夕方支援についてのニーズは年々高まり引き続きの課題として整備が進められている。

当施設においては、今年度より看護師が常時添乗しての医療的ケア対応のバス運行が開始された。看護師の人員体制の整備も相まって、家族やヘルパーの同乗もなくなったことからご家族の大幅な負担軽減につなげることができた。

変化する社会情勢に対応しつつ支援のクオリティ維持、向上を目的に中野区と協議を重ね、令和7年度支援ソフト導入に合意を得た。「支援記録及び請求業務の効率化」「スピーディーかつタイムリーな情報の更新と共有」に加え、エリア内の支援ソフト導入状況を鑑みてソフトを選定することで、エリア内での相互支援、業務に従事できることを目指して、導入に向けた準備をすすめた。

2. 本年度重点目標に対する結果

(1) 専門性の向上

自閉症スペクトラム症、行動障害のある利用者の支援専門性向上のため、強度行動障害支援者養成研修（基礎）、法人ABAプラスワン研修に職員を派遣した。重度心身障害者支援については、小茂根療育センター主催の看護師講習会、摂食研修、意思決定支援研修、東社協主催のリハビリ職員意見交換会連絡会へ職員を派遣した。いずれも事業所内での共有の機会を設定し研修での学びを職員間に水平展開するとともに、研修参加者の学び、理解度を深める機会となった。次期は今期の学びを支援への具体的な実践へ展開していく。

フロア間での利用者情報共有については、合同で行う活動での引継ぎの機会を週1回から2回に増やし、利用者の直接支援ができる職員を増加させた。またフロア会議でのケース記録についてフロア間で共有できる書式へ変更した。

(2) 重度化・高齢化への対応

事業所内において支援員、看護師、理学療法士と連携し身体機能訓練を実施した。栄養士との連携では利用者の年齢、活動量から適正摂取カロリーの見直しを実施するとともに、言語聴覚士を新たに配置し、事業所内での食事、水分摂取の他、家庭での安全な食形態、食事姿勢への提案に繋げることができた。

ご家族の体調不良等緊急時には、通院同行、タイムケア（時間延長支援）を実施した。その取組の結果、年間を通して重篤な体調不良者を出すことなく利用率79.1%を達成した。

(3) 緊急事対応の強化

B C Pについて実際の状況を想定した訓練を実施した。毎月実施した防災訓練の中で、地域連携の一環として野方消防署、北鷺町内会防災部の協力を得て、合同避難訓練を年1回実施した。消防署から事業所の実態に即した避難誘導方法、通報の方法を具体的に教示頂けたほか、町会と顔の見える関係が強化された。N T Tの災害用伝言ダイヤル、Web171、事業所ホームページでの情報発信の3つの媒体での安否確認方法についてご家族と共に利用訓練を実施したことにより災害時の安心感を高めることができた。

(4) 送迎バスの医療的ケア対応

区の方針により令和6年度より東京都重症心身障害児(者)通所事業の利用者を対象として専用の送迎バスを増便した。看護師が常時添乗し、中野区のガイドライン沿って送迎バス内での医療的ケアを実施した。令和6年度は送り迎えで延べ282回運行した。通常のマイクロバスでは対応できなかったドアツードアでの送迎が実現でき、ご家族の負担が軽減されたとともに、医療的ケアの必要な方の安定した通所の継続を実現させることができた。

3. 事業概要

(1) 設置の目的

中野区が設置する「社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会中野区立かみさぎこぶし園（以下「事業所」という）が行う指定生活介護の事業（以下「事業」という。）の適正な運営を確保する為に人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の従業員が、利用者に対して、適正な指定生活介護を提供することを目的とする。

(2) 名称及び所在地

名称	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 中野区立かみさぎこぶし園
事業所番号	1311400012
所在地	東京都中野区上鷺宮一丁目21番30号
電話	03-5241-8121
ファックス	03-5241-8123
電子メール	kobushi@ikuseikai-tky.or.jp
HPアドレス	http://www.ikuseikai-tky.or.jp/~iku-kamisagi/

(3) 設立

設立年月日	平成6年10月1日
事業開始	平成17年4月1日（指定管理開始日） 平成27年4月1日（第二期指定管理開始）
事業種別	①障害福祉サービス事業（生活介護） ②東京都重症心身障害児（者）通所事業地域施設活用型 （平成28年3月18日 事業開始） ③指定特定相談支援事業

	(平成27年6月1日 事業開始) ④中野区障害者施設入浴事業 ⑤中野区障害者通所施設利用者時間外タイムケア事業
--	---

(4) 施設の規模

延床面積	1, 262.22 m ²	鉄筋コンクリート造地上2階建て
敷地面積	1, 451.80 m ²	

(5) 職員構成 (令和7年3月31日現在)

① 職員構成

生活介護事業

	職種	男性	女性		職種	男性	女性
常勤	施設長	1		パート・アルバイト	生活支援員	1	4
	副施設長				事務員		1
	サービス管理責任者 (主任支援員兼務)	1			看護師(正・准)		3
	支援係長				作業療法士		
	主任支援員(兼務)	(1)			理学療法士	2	1
	事務主任				小計	3	9
	生活支援員	9	8	嘱託	小児精神科医師		1
	事務員	1			精神科医師		1
	看護師(正・准)		2		内科医師	1	
	栄養士(管理含む)				耳鼻科医師	1	
	理学療法士		1		整形外科医師	1	
	小計	12	11		歯科医師	1	
					小計	4	2
契約	生活支援員				合計	19	22
	事務員						
	小計						

② 職員人事

事由	日付	職名	種別	氏名	備考
採用	R6/4/8	支援員	契約		
採用	R6/4/8	支援員	契約		
採用	R6/6/1	支援員	常勤		

採用	R6/7/1	看護師	パート		
採用	R6/7/1	看護師	パート		
採用	R6/9/1	支援員	常勤		
採用	R6/12/1	支援員	パート		

事由	日付	職名	種別	氏名	備 考
退職	R6/5/31	看護師	常勤		
退職	R6/6/30	看護師	常勤		
退職	R6/9/20	支援員	パート		
退職	R6/12/31	看護師	パート		
退職	R6/12/31	事務員	常勤		

事由	日付	職名	種別	氏名	備 考
異動 (転入)	R6/4/1	支援員	常勤		
異動 (転入)	R6/4/1	主任支援員	常勤		
異動 (転入)	R6/2/1	事務員	常勤		

事由	日付	職名	種別	氏名	備 考
異動 (転出)	R7/3/31	施設長	常勤		

(6) 利用者状況 (令和7年3月31日現在)

① 利用対象者

ア. 利用対象者

当施設事業の障害福祉サービス受給者証を有する方。

イ. 定員

定員	45名	現員	42名
----	-----	----	-----

※東京都重症心身障害児(者)通所事業においては、1日の定員を5名とし日々の通所者が定員を超えないように日々定員を導入した。

② 性別・年齢構成

	20歳 未満	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50歳 以上	合計
男性	0名	4名	9名	3名	2名	18名
女性	0名	8名	8名	3名	5名	24名
合計	0名	12名	17名	6名	7名	42名

平均 男性 38.3歳 女性 37.2歳 全体 36.5歳

③ 障害程度

愛の手帳						身障 手帳 のみ	合計
等級		1度	2度	3度	4度		
愛の手帳のみ		0	17	1	0		18
身障 手帳	1級	6	6	0	0	4	16
	2級	0	4	0	0	0	4
	3級	0	2	0	0	0	2
	4級	0	2	0	0	0	2
	5級	0	0	0	0	0	0
	6級	0	0	0	0	0	0
合 計		6	31	1	0	4	42

※ 車椅子利用者 常時15名（他に外出時等に利用5名）

④ 障害支援区分

区分	未定	1	2	3	4	5	6	合計
男性	0	0	0	0	3	8	7	18
女性	0	0	0	0	6	7	11	24
合計	0	0	0	0	9	15	18	42

⑤ 入園前の状況

状況	特別支援学校	他通所施設	他入所施設	在宅	その他	合計
人数	31	6	2	3	0	42

⑥ 保護者状況

	両親	母親	父親	兄弟姉妹	その他	合計
男性	15	5	0	0	0	20
女性	12	8	2	0	0	22
合計	27	13	2	0	0	42

4. 事業実績

(1) 生活介護

① 日常生活支援

1階フロアは身体的配慮を行いながらのストレッチ、歩行訓練等機能維持活動を中心に、天候状況により近隣の散歩など四季を感じられる活動を実施した。2階フロアは個々にあった身体を動かすプログラムや作業を提供し、テーブル拭きやタオルを畳むなど生活の質の向上を行った。

ア. 個別の週間プログラムを作成し、その日の体調に合わせた活動を提供した。

イ. スヌーズレン、アロマセラピー、ハンドマッサージ、エアポリン、足浴等、感覚刺激を取り入れた支援を行った。

ウ. 日常生活を向上させるための取り組みとして、テーブル拭きや洗濯物、施設の清掃などを利用者と共に行った。

② 意思決定支援

アセスメントの際に利用者個々の好きなこと、物、得意なこと、苦手なことの聞き取りを行い、利用者興味、関心に基づいた活動の提案、選択の機会を提供した。

利用者個々の意思表出について、サイン、カード、スイッチなど表出のしやすいツールを都度検討し提案した。また、視覚、触覚、味覚、嗅覚、聴覚など感覚を刺激するプログラムを設定し、利用者個々が選択をしやすい刺激を見極めアセスメントした。

③ 社会生活支援

新型コロナウイルス感染症で昨年度まで行えなかった地域との交流を再開した。近隣の幼稚園や図書館との交流を通し、相互の理解を深めることができた。外出のイベントを利用者1人につき2回の機会を設定し、小グループに分かれて様々な場所への外出の機会を作ることができた。また、医療的ケア専用送迎バス運行に伴い、外出時の医療的ケア実施についてのガイドラインを見直し、外出先でも医療的ケアを実施できる体制を整備。医療的ケアのある利用者についても安心して外出活動に参加することができた。

行き先	実施日	利用者数	職員数
イオンモール東久留米	4月26日	2名	2名
イオンモール東久留米	4月30日	3名	3名

イオンモール東久留米	5月10日	3名	3名
阿佐ヶ谷散策	5月23日	2名	3名
長谷川町子記念館	5月29日	3名	3名
井の頭公園	6月7日	2名	3名
イオンモール東久留米	6月13日	3名	3名
イオンモール東久留米	6月19日	3名	3名
深大寺	6月27日	2名	3名
小金井公園	10月11日	8名	7名
光が丘 IMA	10月4日	2名	2名
ポリスミュージアム	11月13日	8名	6名
中野区役所	11月14日	2名	3名
光が丘 IMA	11月21日	2名	2名
上野動物園	11月28日	8名	6名
上井草サンドイッチ店	11月29日	2名	2名
光が丘 IMA	12月5日	2名	2名
恵比寿ガーデンプレイス	12月13日	3名	3名
吉祥寺散策	12月24日	3名	3名
長谷川町子記念館	1月16日	3名	3名
恵比寿ガーデンプレイス	1月31日	3名	3名
渋谷フクラス	2月7日	3名	3名
新宿散策	2月10日	3名	3名

④ 健康維持・体力作り

利用者のニーズと状況に合わせて運動の機会を提供した。理学療法士と連携して身体機能の維持を目的としたストレッチや運動、リフレッシュを目的とした近隣散歩も同時に行った。

今年度から月2回言語聴覚士を配属し、体調不良や加齢による機能低下に対応した摂食支援を行った。

④ 作業

利用者個々のプログラムを組み、生活力向上の為の取り組みとして、テーブル拭きや洗濯物、施設の清掃、郵便、荷物運び、地域センターへの交換便配達なども行った。

ア. クッキー作り

内容	1) クッキーの製造 2) ユニフォームを着用し作業の雰囲気作りをした 3) 利用者の特性に合わせ作業を細分化
実績	プレーン、ココア、紅茶、抹茶、ゴマ、コーヒー味のクッキー製造、販売
今後に向けて	1) 販路の拡大 2) 衛生環境の整備 3) パッケージデザインの改良 4) 販売入数のバリエーション増の検討

イ. 紙すき

内容	1) 牛乳パックを再利用した紙作り
実績	ハガキ、カードの製造、販売
今後に向けて	1) 販路の拡大 2) 作品バリエーション増の検討

ウ. アロマソープ

内容	1) グリセリンソープを材料として香料、色づけをした石鹸作り 2) 利用者の選択した色、香、型を作品に活かした
実績	石鹸の製造、販売
今後に向けて	1) 販路の拡大 2) アロマソープ作りのノウハウを活かしたキャンドル作りの検討

⑥ 作品

創作活動、作業で作製した作品は、施設内にて展示した他、近隣の幼稚園との作品交換展示を行った。

7 月	鷺宮図書館作品展示
1 1 月	かみさぎ幼稚園作品交換展示
1 月	中野障害者福祉会館

	展示ギャラリー“アルモニー”作品展示
--	--------------------

⑦ クラブ活動

実施日	毎週水曜日
目的	1) 運動、音楽、美容健康、買い物の4つのクラブから個々の興味、関心から活動を選択できる機会の設定。 2) 利用者の興味、関心の広がりを図る。
内容	音楽、運動、美容健康、ドライブ

⑧ 自治会活動(こすもす会)

利用者が自分達で行事・レクリエーションを企画・運営し、施設運営についても話し合うことができるよう、自主的な活動を支援した。

(2) 東京都重症心身障害児(者)通所事業

生活介護事業と一体的にサービス提供を実施した。月2回の指導医検診により、利用者健康状況の確認、看護師、支援員への助言、指導、連携の強化を行うことができた。また、令和6年度から送迎バス乗車中の医療的ケア対応を実施した。

利用者	医療的ケアの内容					
	たんの吸引			薬液の吸入	酸素管理	経管栄養
	口腔内	鼻腔内	気管カニューレ内			
A	○	○		○	○	○
B	○	○	○	○	○	○
C	○	○	○	○	○	○
D	○	○				○
E	○	○		○		○

(3) 指定特定相談支援事業

① 目的、基本方針

障害者に対して、適正な計画相談支援を行うことを目的とした。利用者が自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、関係市区町村・地域の保健・医療・福祉サービス機関等との連携を図り、総合的なサービス提供に務めた。その提供する計画相談支援の評価を行い、常にその改善を行った。

② 利用対象者

かみさぎこぶし園通所利用者を中心に支援を行った。

③ 相談窓口の時間・開所日

毎週木曜日 国民の祝日・休日 12月29日～1月3日を除く

④ 利用者数

ア．新規計画作成件数 0件

イ．更新 21件

ウ．モニタリング 24件

エ．サービス担当者会議 1件

⑤ 事業内容

ア．サービス等利用計画の作成

イ．サービス等利用計画作成後の便宜の供与（モニタリング）

ウ．サービス等利用計画の変更

（４）中野区障害者施設入浴事業

今年度利用実績なし。中野区と協議の上、今年度にて事業終了。

（５）中野区障害者通所施設利用者時間外タイムケア事業

中野区障害者通所施設利用者時間外タイムケア事業実施要綱に基づき、18時までの延長サービスを提供した。今年度の延べ利用回数は、224回。前年比17回増。年々夕方方の支援ニーズが高まっている。

5. 権利擁護

（１）事業所としての取り組み・方針

虐待防止研修を行い、法人の虐待防止のクレド、虐待防止要綱、身体拘束等適正化に向けた指針について理解を深めた。

虐待防止委員会を設置し、月に1回会議を実施した。会議の中では、各グループの中から気になる出来事や統一したほうがいい支援など日々の気づきを挙げ、対応について検討した。検討内容については、職員会議でフィードバックを行った。虐待防止セルフチェックは年4回実施し、職員の意識付けを行うとともに組織として対応が必要なことについてはリーダー会議等で検討し対応した。身体拘束適正化委員会においては、検診場面等での身体拘束にあたる対応がないかの見直しを行い、対象となる利用者については審議を行った上で家族の同意を得て対応をした。

(2) 虐待防止体制

① 法人本部虐待防止体制

法人	虐待防止責任者	理事長
	虐待防止マネージャー (相談窓口)	
	虐待防止委員会	委員長：(事務局長) (理事長) (副理事長) (副理事長) (理事) (理事) (虐待防止マネージャー) 外部委員 (弁護士) (社会福祉士)

② 虐待防止体制

事業所	虐待防止責任者	(施設長)
	虐待防止マネージャー (相談担当者)	(支援員)
	虐待防止委員会	委員長 (施設長) 委員 (主任支援員) (支援員) (支援員) (支援員) (支援員) (支援員) (看護師)
		外部委員 (学識経験者)

(3) 身体拘束等適正化体制

身体拘束等適正化責任者	(施設長)
身体拘束等適正化委員会	委員長 (施設長) 委員 (主任支援員) (支援員) (支援員) (支援員) (支援員) (支援員) (看護師)

(4) 虐待防止・身体拘束等適正化年間実績

① 委員会

4/2	身体拘束適正化委員会	想定される身体拘束の状況について確認、意見交換	6名
	虐待防止委員会	年間計画確認	
5/8	身体拘束適正化委員会	審議書類、家族からの同意書及び説明書の確認	8名
	虐待防止委員会	チェックリストの内容確認 園内研修の内容検討	
6/4	身体拘束適正化委員会	想定される体拘束の状況について確認、意見交換	7名
	虐待防止委員会	チェックリスト実施 園内研修の内容検討	
7/2	身体拘束適正化委員会	身体拘束に係る審議(13名) 状況について経過確認	7名
	虐待防止委員会	施設内研修について	
7/8		虐待防止研修の実施	
8/6	身体拘束適正化委員会	新たに身体拘束の審議が必要の方、場面がないかの確認	7名
	虐待防止委員会	施設内研修振返り チェックリストの内容検討	
9/3	身体拘束適正化委員会	身体拘束に係る審議(1名) ※審議の結果、身体拘束支援に対する同意書を取り交わす。	7名

	虐待防止委員会	チェックリスト実施 各グループからの報告（気になる出来事、統一した方がいい支援） 虐待防止研修の内容検討	
10/1	虐待防止委員会	各グループからの報告（気になる出来事、統一した方がいい支援） チェック集計結果共有 虐待防止研修の内容検討	8名
11/5	身体拘束適正化委員会	新たに身体拘束の審議の必要がある利用者がいないかを確認	8名
	虐待防止委員会	各グループからの報告（気になる出来事、統一した方がいい支援） チェックリストの内容検討	
12/3	身体拘束適正化委員会	身体拘束に係る審議（1名）	7名
	虐待防止委員会	チェックリスト実施 各グループからの報告（気になる出来事、統一した方がいい支援） 外部委員との意見交換	8名
1/7	身体拘束適正化委員会	次年度の身体拘束に係る継続審議の確認（28名分）	8名
	虐待防止委員会	各グループからの報告（気になる出来事、統一した方がいい支援） 3月実施予定虐待防止研修内容検討	
2/4	身体拘束適正化委員会	身体拘束審議及び同意、説明書類内容確認	8名
	虐待防止委員会	各グループからの報告（気になる出来事、統一した方がいい支援） チェックリストの内容検討	
3/6	身体拘束適正化委員会	次年度の身体拘束に係る審議（1名分）	7名
	虐待防止委員会	各グループからの報告（気になる出来事、統一した方がいい支援） チェックリスト集計結果共有	

② 虐待防止セルフチェック

実施日時	実施人数／対象人数
6月	33名／35名
9月	38名／38名
12月	36名／36名
3月	33名／36名

※実施日在籍中の全職員に対して実施した。

③ 研修等

7/8	内部研修(外部講師による研修)	「虐待防止研修」※参加できなかった職員は後日動画視聴し、報告書を提出した。	36名
3/7	内部研修(グループワーク)	職員のメンタルヘルスとコミュニケーション	36名

④ 事例検討

ア. 虐待防止関連

【事例検討等実績】		
8月	グループ会議	事例について意見交換
9月	虐待防止委員	グループで上がった意見について検討
12月	職員会議	グループ、虐待防止委員での見解周知、報告
【事例検討結果】		
利用者の行動を職員視点で「～させる」ということは不適切。 支援とは常に人と接し、人と関わる仕事であることの意識を持つことが大切。 他者の話し方やワードチョイスについて職員同士注意し合える環境でありたい。		

(5) 苦情解決体制

「利用者・家族から意見や要望が出やすい環境にし、早期に対応できる体制を作る」事を目標に、苦情解決責任者及び苦情解決担当者を配置した。さらに苦情解決第三者委員が家族の意見を聞く機会をつくった。

事業所	苦情解決責任者	施設長
	苦情受付担当者	主任支援員
	苦情解決第三者委員	社会福祉士 近隣代表
法人	苦情解決責任者	理事長
	苦情受付担当者	
	苦情解決第三者委員	

(6) 個人情報保護

中野区個人情報保護条例及び中野区情報公開制度に基づき、区により定められた取り扱うことのできる個人情報の範囲、取扱い方法について

課せられた制限及び義務を遵守した。個人ファイルについては、全て事務所内の施錠できる保管庫に管理し、職員による緊急時の個人情報の持ち出しは管理者を通して行った。また、緊急対応時を除き、他の指定事業者やその他第三者に対し利用者またはその家族に関する情報を提供する場合は、あらかじめ利用者または家族から同意を得るようにした。

（７）障害者差別解消法への対応

「障害者差別解消法福祉事業者向けガイドライン」（厚生労働省）に則り、事業者として、日頃の支援が障害者に対する不当な差別的取扱いとならないよう、必要かつ合理的な配慮を行った。

対応責任者	（施設長）
対応受付担当者	（主任支援員）

6. 医務

（１）健康管理

利用者の重度・重複・高齢化を考慮し、主治医・関連医療機関との連携を密にし、健康で安全な生活が送れるようにする事を目標に行動した。看護師を中心に日々のバイタルチェック、嘱託医の定期的な検診を行った。利用者健康診断結果を踏まえ、支援内容の見直し等を行った。

（２）実施体制

診療科等	指導医	内科	歯科	耳鼻科	精神科	整形外科
年間	2 3 回	3 回	6 回	2 回	2 回	1 回

（３）感染症予防・対応

かみさぎこぶし園感染症マニュアルに基づいて対応した。感染（インフルエンザ等）に罹患した際の対応について事前に家族、職員へ周知し感染拡大を予防した。

1 1 月に園でインフルエンザの予防接種（実費負担）を希望者に行った。

（４）理学療法・言語聴覚療法の実施

理学療法士が作成したストレッチメニュー及び運動メニューを実施した。必要に応じ理学療法士が補装具、車椅子作成の助言、修理の立ち合いを実施し利用者の生活、日中活動に則した装具の作成を補助した。年に 2 回全利用者を対象に理学療法士と支援員のカンファレンスを実施し、それ

それぞれの視点から利用者の機能訓練の内容についてアセスメントした。

言語聴覚士が主に摂食について支援員、家族、関係機関へ助言を行った。

(5) 医療的ケアの実施

中野区医療的ケア実施要綱及び法人医療的ケア要綱に準じて必要な利用者へ医療的ケアを実施した。

7. 給食・調理

(1) 委託業者

一富士フードサービス株式会社	東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア11階
----------------	----------------------------------

(2) 給食委員会など

名称等	内容	回数
給食会議	毎月第4週目	12回
リクエストメニュー	毎月1回、1つのグループで希望したメニューを取り入れた。	12回
セレクトメニュー	月に1度デザートを2種類用意し、食事時間に選択できるようにした。	12回
行事用特別メニュー	季節の行事や施設祭りに特別メニューの提供をした。	1回

(3) 衛生管理

給食の衛生管理は委託業者の基準で行い、年1回、業者の衛生管理担当が巡回検査を行った。また中野区保健所の検査も年1回受け、大きな問題の指摘はなかった。安定して衛生状態を保った。

8. 危機管理

(1) 事故防止・対応

考察

① 報告件数について

前年度より事故報告件数が増加した要因としては、事故分類の見直しがある。よりリスクに対する意識を高めるために、従前対象外であった軽微な事象についても、施設内では事故報告の対象として取り扱った。この結果報告件数自体は微増。報告と振り返りを実施することで日常的に支援を見直すきっかけにすることができた。

② 報告内容について

増加傾向にあったものとして、1) 利用者の歩行中の躓き、2) 利用者私物の持ち帰り忘れ等がある。職員の配属グループの入れ替え等によるものと利用者個々の身体機能の変化による介助方法の見直し中の支援によるものが中心であった。

③ 全体として

事故分類の見直しにより、より広範な情報収集とリスクについての気付きを共有できるようになった。これを今後の事故、並びに再発防止策の精度向上に繋げる。また、様々な変化に対応できる職員の育成に向け、継続的な研修やOJTを通じて支援技術やリスク管理の向上を進める。施設全体でより安全な支援体制を構築する。

(2) 緊急時対応等

事業継続計画(BCP)の見直し、災害発生時に備えた。外出時に連絡を取ることが出来るように、専用の携帯電話を用意した。さらに、休日は園長が関係者と連絡が取れるように専用携帯電話を持って対応した。

実施日	研修・訓練名等	人数
7/31	B C P 周知・シミュレーション	27名

(3) 情報漏えい対策等

中野区、法人の各規定に添って対応した。中野区とは「個人情報の取り

扱いに関する誓約書」を毎年取り交わしている。個人情報はすべて職員室内で保管し、必ず施錠をして職員室からの持ち出しは原則禁止とした。また、持ち出す場合は、園長（または主任）の許可を得て、台帳に記載した。

情報漏えい事故件数	0 件
-----------	-----

（４）特定個人情報管理

特定個人情報は、法人「特定個人情報取扱規程」の則り、管理区域、取り扱い区域を設け、取扱責任者、取扱担当者のみが取り扱い、決められた目的のみに使用した。職員等からの収集番号は、規定に則り、適切な方法で行った。

職 名	氏 名
取扱管理責任者（法人）	事務局長
取扱責任者	施設長
取扱担当者	事務員

9. 防災

（１）自衛消防体制

火災や地震による災害の予防対策や避難訓練等を毎月実施した。また、野方消防署や地域町会防災部と総合避難訓練を行い災害時に備えた。

（２）避難訓練

実施形態	実施日	実施状況
防災計画訓練	4/22	消火器位置確認、火元責任者確認 非常階段ルート・すべり台確認、体験
広域避難訓練	5/21	新任職員に対し広域避難訓練を行う
地震想定訓練	6/21	地震に特化した訓練、全体の点呼の確認、（事務所より各フロアへ内線） 新規職員の滑り台訓練、利用者の滑り台訓練（2名）

火災想定訓練	7/30	火災訓練を行い、玄関前で避難を行う。全体の点呼、車椅子利用者のスロープ確認
BCP 訓練	7/31	BCP 訓練として、BCP とはなにかを研修で学ぶ。園での方針を全体で共有する
火災想定訓練	9/19	火災訓練を行い、玄関前で避難を行う。全体の点呼、車椅子利用者のスロープ確認。
避難設備使用訓練	10/10	避難用滑り台を利用者 2 名と利用訓練。
災害時ハザードマップ配布	11/19	上鷲宮地区防災ハザードマップを利用者、職員へ配布
地震・火災避難訓練、排煙筒確認	11/22	火災訓練を行い、玄関前で避難を行う。全体の点呼、車椅子利用者のスロープ確認
総合防災訓練	12/3	町会、消防隊を招いて地震火災通報の訓練・通報訓練を実施。排煙窓使用確認。
地震火災想定訓練	1/20	火災訓練を行い、玄関前で避難を行う。全体の点呼、車椅子利用者のスロープ確認。
地震想定訓練	2/13	起震車訓練（区借用）
地震火災想定訓練	3/10	火災訓練を行い、玄関前で避難を行う。全体の点呼、車椅子利用者のスロープ確認。 年間まとめ

（３）大規模地震・災害対策

大規模地震・天候不良による災害対策は対応策を職員、家族へ周知した。緊急時連絡網（電話及びメール）を作成して、職員へ配布した。家族とは

終日連絡を取ることが出来るよう、施設長（不在時は主任）が専用の携帯電話を常に所持した。

10. 家族（保護者）との連携

家族会	4回
個別面談	7回
健康・食事相談	随時
家庭訪問	4回
通院同行	4回

11. 地域との連携

（1）地域交流

かみさぎ幼稚園との交流は今年度より再開となった。フェスティバルでの交流の他、相互の作品を交換しての展示をするなど交流を深めることができた。かみさぎ区民センターとは交換便の配達作業、祭りでのイベント参加団体情報提供、クリスマス時のプレゼント交流などを継続している。

作品展示	鷺宮図書館
作品展示	かみさぎ幼稚園
合同防災訓練	北鷺町会、野方消防署
施設祭り	かみさぎ幼稚園
作品展示	中野障害者福祉会館
作業協力、イベント協力	上鷺区民活動センター

（2）地域関係団体・事業所との連携

① 地域事業所との連携

利用者の生活の改善や医療面において、区や他の関係機関と連携を多く取ることがあった。ご家族の介助負担の軽減と本人の肉体的・精神的負担軽減を図る事を目標に、各種サービスの提案とそれに伴う施設間連携を行った。

② 親の会、障害者団体、医師会との連携

中野区肢体不自由児者父母の会の総会、中野区手をつなぐ育成会の新年会に参加した。また、医療面においては嘱託医・指導医と連携することで、利用者状況の相談や園内研修を開催することができた。

③ 広報活動

ホームページを新しく作り替え、見やすさを重視し情報が伝わり易くした。更新は二週間に一回程度行うことで、学生や近隣住民、利用者の家族などに施設の様子を伝えた。

④ 中野区社会福祉協議会

イベント活動費の補助、区民からの物品寄付の情報提供を受けた。

(3) 実習・ボランティア等受け入れ状況

① 社会福祉士施設援助技術現場実習

学校名	人数	期間
東京通信大学	1名	6月3日～7月4日
武蔵野大学	1名	11月18日～29日

② 介護等体験実習

学校名	人数	期間
明治学院大学	1名	12月16日～12月20日

③ 特別支援学校高等部生徒体験実習等

学校名	人数	期間
永福特別支援学校	2名	①7月1日～3日 ②7月8日～10日
筑波大付属大塚特別支援学校	1名	10月1日～3日

④ ボランティア

内容	人数	回数
施設祭り補助	3名	1回
日中活動補助	1名	1回

12. 会議・委員会

(1) 会議

リーダー会議	毎月第2火曜	12回
グループ会議	毎月第2水曜	12回
運営協議会	令和7年1月22日	1回
虐待防止委員会	毎月第1火曜	12回
人事考課者会議	9月14日 2月15日	2回

医務会議	毎月第 2 水曜	1 2 回
フロア会議	毎月第 3 水曜	1 2 回
職員会議	毎月第 4 水曜	1 2 回
身体拘束適正化委員会	毎月第 1 火曜	1 2 回
給食会議	毎月第 4 週日	1 2 回

(2) 委員会

虐待防止委員会	毎月第 1 火曜	1 2 回
身体拘束適正化委員会	毎月第 1 火曜	1 2 回
衛生推進委員会 感染性対策委員会(研修・訓練含)	4 月 2 3 日・6 月 7 日 7 月 1 0 日・1 2 月 4 日	4 回

1 3. 研修計画・大会参加

(1) 研修実績

① 育成会関係

日時	内容	人数
4/18, 25	新任職員研修(web 参集)	1 名
5/14	人事考課研修《中級編》(参集)	2 名
6/25	法人職員 2 年目研修(参集)	1 名
7/5	相談支援研修①相談プレ研修(参集)	1 名
7/23	2 年目研修ビジネススキル(web)文書	1 名
7/24, 25	相談支援研修②リアライズ研修(参集)	1 名
8/20	2 年目研修ビジネススキル(web)タイムマネジメント	1 名
8/21, 22	相談支援研修②リアライズ研修(参集)	1 名
8/28	中途採用者向け新任職員研修(web)	1 名
10/7	キャリアⅡ(web)	1 名
10/9, 11/11, 12/3 1/10, 2/5, 3/17	自閉症支援研修 A B A プラスワン	1 名
10/29	キャリアⅡ ビジネススキル(web)倫理構成力	1 名
11/25	中途採用者向け新任職員研修(web)	1 名
1/14	人事考課研修《新任編》(参集)	2 名

② 中野区関係

日時	内容	人数
----	----	----

10/3	障害児・保育施設における感染対策	1名
11/16, 17	区内交流研修 Su-Clu-Lab Terrace	1名
11/19	区内交流研修 もみじやま支援センター	1名

③ その他外部研修

日時	研修名・内容	主催	人数
4/17	絆 Core フォローアップ(参集)	ウチダエスコ(株)	1名
4/27	発達障害支援『偏食を抱える子どもたちへの対応』(web)	子ども発達支援研究会	1名
6/3~(視聴) 7/4, 8/22, 23	東京都相談支援従事者現任研修(参集)	東京都福祉局	1名
7/16~8/12	東京都障害者虐待防止権利擁護研修(オンデマンド)(web)	東京都福祉保健財団	1名
7/19	感覚統合の理論と支援(web)	子ども発達支援研究会	1名
8/13~9/3 8/26	摂食・嚥下指導基・礎実習(オンデマンド)(web)	心身障害児総合医療療育センター	2名
9/9, 10/21, 22 11/20, 1/27, 28	東京都相談支援従事者初任者研修(オンデマンド参集)	東京都福祉保健局	1名
9/19~21	重症障害児(者)医療看護師講習会(参集)	心身障害児総合医療療育センター	1名
10/2	強度行動障害支援者養成研修基礎(参集)	東京都福祉保健財団	1名
11/8	重症心身障害者の意思決定支援実践編(参集)	都障害者通所活動施設職員研修会	1名
11/12~15	障害児者施設・事業所療育職員講習会(参集)	心身障害児総合医療療育センター	1名
11/18, 19	東京都サービス管理責任者基礎研修(参集)	東京都保健局	1名
11/27	強度行動障害支援者養成研修基礎(参集)	東京都福祉保健財団	1名
11/28	強度行動障害支援者養成研修基礎(参集)	東京都福祉保健財団	1名

12/12 1/10, 11	東京都サービス管理責任者 実践研修(web 参集)	東京都福祉局	2 名
12 月 13 日	リハビリ職員等意見交換会 (参集)	東京都社会福祉協 議会	1 名
12/19~21	重症障害児(者)医療看護師 講習会(参集)	心身障害児総合医 療療育センター	1 名
2/4	口腔ケア『お口からの健康に ついて考える』(web)	東京都社会福祉協 議会	1 名
2/25~(視聴)	重症心身障害児者フィジカ ルアセスメントとトラブル 対応	日本総合研究所	1 名
3/6	福祉人材確保・定着に向けた 事業所等支援(web)	東京都福祉局	1 名

④ リアライズ研修

実施日	研修先・内容	人数
7/24, 25 8/21, 22	相談支援業務体験：すまいる高円寺・相談支援セン ターひだまり	1 名
2/17, 18, 20	他施設体験：目白生活実習所・分室プラス	1 名

⑤ 施設内研修

日時	内容	講師名（肩書）	人数
4 月~7 月	入職時虐待防止研修(SL)	施設内虐待防止身体拘束 適正化委員会	5 名
7/8	虐待防止研修研修	(ひだまりの里きよせ副 施設長)	3 6 名
8/26	理学療法(PT)研修	(理学療法士)	1 5 名
11/18	言語聴覚(ST)研修	(言語聴覚士)	2 0 名
12/6	指導医研修(てんかん)	(指導医)	2 2 名
12/12	入職時虐待防止研修(SL)	施設内虐待防止・身体拘 束適正化委員会	1 名
2/28	重度心身障害児者の口腔 特徴を踏まえた口腔ケア	(常勤看護師)	2 8 名
3/7	メンタルヘルス研修	施設内虐待防止・身体拘 束適正化委員会	1 8 名
12/12~13	虐待防止研修(SL)給食業	施設内虐待防止身体拘束	5 名

	者向け	適正化委員会	
3/7	虐待防止研修『メンタルヘルスとコミュニケーション』	施設内虐待防止身体拘束 適正化委員会	36名

(2) 人材育成

人事考課を活用し、承認点、不足点を踏まえた上で個々に合わせた指導・アドバイスを行い、意識の向上、スキルアップにつなげた。

(3) 大会参加

育成会大会

7/12	東京都育成会大会（1名10年表彰）	2名
9/28	関東・甲信越ブロック大会（新潟大会）	1名
10/4	大研修会	1名
10/12, 13	全国育成会連合会大会（秋田大会）	1名

14. 労務管理

(1) 職員健康管理

	実施期間	実施人数
定期健康診断	2024(R6)4月～2月	37名
特定業務従事者健康診断	該当なし	該当なし

(2) 安全衛生推進体制

職務名	氏名	備考
産業医	該当なし	
衛生管理者	該当なし	
衛生推進者		施設長
衛生委員会	該当なし	

以下の業務を推進した。

- ① 労働者の危険又は、健康障害を防止するための措置に関すること。
- ② 労働者の安全又は、衛生のための教育の実施に関すること。
- ③ 健康診断の実施その他健康の保持増進のための措置に関すること。
- ④ 労働災害の原因の調査及び再発防止対策に関すること。

月	取組	内容	人数
4月	①	感染症対策及び対応について職員周知。	34名

8 月	④	労働災害 食品加工作業支援中オーブンから出したばかりの鉄板を掴み火傷。	1 名
1 0 月	④	労働災害 車いす利用者を移乗する際腰に負担がかかり腰痛発症。	1 名

(3) 勤怠状況

時間外勤務・休日出勤 前年度比 (今年度事業所総時間外勤務時間数＋休日出勤時間数)	時間数 = 1610	106.3%
(前年度事業所総時間外勤務時間数＋休日出勤時間数)	= 1515	
年次有給取得率 前年度比 (今年度事業所総有給取得日数)	日数 = 574	139.0%
(前年度事業所総有給取得日数)	= 412	

(4) 職場におけるハラスメント対応体制

役 割	氏 名
ハラスメント対応責任者	(法人事務局長)
ハラスメント法人本部相談窓口	
ハラスメント事業所相談窓口	施設長
ハラスメント事業所相談窓口	事務員
相談実績	0 件

(5) メンタルヘルス・ストレスチェック制度

① メンタルヘルス

法人外相談窓口	東京メンタルヘルス株式会社 メンタルサポートネット
法人内相談窓口	職員悩みごと相談窓口

② ストレスチェック制度

職務名	氏名
ストレスチェック制度担当者	法人事務局長
ストレスチェック制度実施者	株式会社 H L & E
ストレスチェック実施実務担当者	法人事務局人事労務部門所属職員のみ
面接指導担当医師	株式会社 H L & E 精神科医

実施日程	2025(R7)/2/17～2025(R7)/3/9
------	----------------------------

施規程に基づき当該職員に以下の日程でストレスチェックを実施した。

(6) 次世代育成支援

行動計画に基づく取組結果

取組	実績件数・人数
子供参観日	1 件
職場体験等受け入れ	0 件

15. 指導・監査等

(1) 福祉サービス第三者評価の受審（今年度実施非該当年）

施設の適正運営に向けて第三者評価に変わり利用者満足度調査を実施した。

(2) 労働環境モニタリング（中野区が指定管理者施設に対して実施）

指定期間中に実施する。今年度は対象年度ではなかった。

(3) 利用満足度調査

実施期間	2024(R6)/1/23～2/6	回答率	90.7%
配布数	43部	回答数	39部

大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満
28%	84%	5%	0%	0%

16. 指定管理

(1) 第1期

平成17年4月1日から平成26年3月31日（10年間）

(2) 第2期

平成27年4月1日から令和6年3月31日（10年間）

(3) 第3期

令和7年4月1日から令和16年3月31日（10年間）

17. 決算（別紙）